

西暦 2023 年 9 月 12 日

医薬品等適応外使用検討会議で承認された治療法

当院の医薬品等適応外使用検討会議にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院のホームページにて情報公開をすることにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

記

実施内容	腎機能正常時（eGFR 60mL/min/1.73m ² 以上）でのヨード造影剤とビグアナイド系糖尿病薬の併用について
実施責任者	鈴鹿回生病院 病院長 岡宏次
対象者	腎機能正常（eGFR 60mL/min/1.73m ² 以上）でヨード造影剤を使用する場合に、ビグアナイド系糖尿病薬を投与されている患者
承認日	2023 年 9 月 12 日
対象期間	承認後より永続的に使用
概要	【目的・意義】ビグアナイド系糖尿病薬の添付文書には、ヨード造影剤を用いて検査を行う患者においては、乳酸アシドーシスを起こすことがあるため検査前はビグアナイド系糖尿病薬の投与を一時的に中止することと記載されています。一方で、海外のガイドラインにおいては腎機能が正常（eGFR 60mL/min/1.73m² 以上）の場合、ヨード造影剤を用いた検査の前にビグアナイド系糖尿病薬の休薬を勧めるものはほとんどありません。他病院においても腎機能が eGFR 60mL/min/1.73m² 以上であれば検査前に休薬していない施設も増えているのが現状です。上記の理由から、当院でも腎機能正常（eGFR 60mL/min/1.73m² 以上）であればビグアナイド系糖尿病薬を休薬せずに造影剤の検査を行います。 【想定される不利益と対策】ビグアナイド系糖尿病薬の重篤な副作用として乳酸アシドーシスがあります。適応を遵守すれば発症することは極めて稀ですが、一旦発症すると予後不良となります。特に腎機能が低下している方はこの副作用を来しやすいとされています。本剤使用に伴う有害事象、健康被害が生じた場合は保険診療範囲内で適切な診察と治療を行います。
お問い合わせ先	鈴鹿回生病院 薬剤管理課 代表 059-375-1212（内線 2500）

以上